

## 2021年度 活動方針の件

### 1. 協会内の運営安定化を目指した取組み（継続）

2018年度に発生した赤字の解消はできましたが、運営の更なる安定化を図ることや夏季デフリンピック派遣などにかかる費用などを捻出するため、資金調達面の強化を2021年度も引き続き重点的に取り組んでまいります。

- (ア) 会員拡大の取組み
- (イ) スポンサー獲得活動の強化
- (ウ) グッズ販売の実施
- (エ) クラウドファンディングの実施
- (オ) デフバドミントンの認知度向上を目指した取組

上記内容を通じた資金調達を行い、協会運営の安定化を図ってまいります。

### 2. デフバドミントンの認知度向上を目指した取組み（継続）

選手強化合宿や国際大会遠征など、日本代表選手にのしかかる金銭的な負担は決して小さくない状況が以前より続いています。国際大会で活躍できる選手育成に必要な資金確保をしていくためにも、多くの支援が必要不可欠であります。また、国内でバドミントン活動をされている聴覚障害者の方もコミュニケーションがスムーズに取れないことを理由に聞こえる方と一緒に練習できる環境にないことも多く伺っています。そんな状況を打破すべく、まずは「デフバドミントン」のことを社会に広めていき、理解と支援をしていくための活動に本腰を入れて取り組んでまいります。そこで、2020年度は以下の活動をしていく予定でいます。

- (ア) クラウドファンディングプロジェクトを通じた活動の紹介
- (イ) メディアを通じた選手強化合宿などの活動紹介
- (ウ) 聴覚障害者と聞こえる人が一緒に出場できる「オープン大会」の開催
- (エ) 協会ホームページのコンテンツ充実化による活動の紹介

### 3. 第24回夏季デフリンピック（2022年）で活躍できる選手の育成（継続）

第24回夏季デフリンピック（2022年5月1日～15日）でのメダル獲得を目指し、選手強化事業の見直しを推進しながら日本代表選手の強化を進めてまいります。

- (ア) バドミントンのプロチームとの合同練習による更なる選手強化の実現
- (イ) 手話通訳スタッフ体制強化による聞こえる人と選手間のコミュニケーション強化の実現
- (ウ) 国際大会など大舞台でも動じないメンタルを身に着けるための取組み

### 4. 次世代を担う選手の早期発掘と育成環境の整備（継続）

2018年度よりバックアップチームを設立（現：ユースチーム）し、ナショナルチームと含めた選手強化合宿を通して鍛錬を行っていますが、2021年度の引き続き行っていきます。しかしながら、ユースチームの選手数が減少している（男0名、女2名）ため、新規選手発掘も含めて行っていきます。